

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
楽器レッスン2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	藤崎昌弘・恒枝賢治			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
音楽活動の幅を広げるために、基礎的なピアノなどの演奏を学びます。											
到達目標											
本科目はグレード対応科目となっており、1 年次後期はグレード6～10に準拠して授業が進行する。各種奏法を使用した弾き語り程度のコード演奏や、シンプルな単音弾きができるようになり、オリジナル楽曲制作やパフォーマンスに活かせる技術を習得します。コードの概念を理解し、効果的な使用方法や、作曲家の意図を汲み取ることができる感性を養います。											
授業方法											
和音・スケールを弾く際、正しいフォームで弾けるよう理解して受講する。講師が用意した教材やプリント資料を使用しながら、講師の演奏を手本とし、各自練習を進行する。講師が各々に合ったアドバイスをしながら授業を進行する。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	グレード6に対応。＃系メジャースケール。Gメジャー、Dメジャー、Aメジャー キーを両手で弾くことができる。										
第2回	グレード6に対応。♭系メジャースケール。Fメジャー、B♭メジャー、E♭メジャーキーを両手で弾くことができる。コードバリエーションを理解する。										
第3回	グレード7対応。出したい音色を選び、PAに接続し音を調整して出すことができる。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
楽器レッスン2	
第4回	楽器を一人でセッティングし、PAに接続し音を出せる。その音でCを除く3種類のメジャースケールを弾ける。
第5回	グレード8対応。コード譜を見て、コード進行がスムーズに弾けるようになる。
第6回	グレード8対応。コード譜を読み、リズムをつけながら弾くことができるようになる。
第7回	グレード8対応。コード譜を読み、リズムをつけテンポをキープしながら弾くことができる。
第8回	グレード8対応。コード譜を読み、講師指定のテンポで演奏することができるようになる。
第9回	グレード9対応。コードの転回形を理解して、弾けるようになる。
第10回	グレード9対応。分数コードの表記と意味を理解して弾くことができる。
第11回	転回形、分数コードを含むコード進行の譜面を見ながら講師指定のテンポをキープして弾くことができる。
第12回	グレード10に対応。3コードを理解して演奏することができる。
第13回	グレード10に対応。3つ以上のコードを使いコード進行を自作できる。
第14回	グレード10に対応。3つ以上のコードを使いコード進行を自作できる。
第15回	グレード10に対応。コード進行を自作し、それを演奏することができる。